

一つの思いで20年間務めてきました

25年前、大阪の小学校に凶器を持った男が侵入。児童8人が殺される事件が起きました。私が鎌倉市PTA連絡協議会会長として議事を進行している最中のこと。刻々と入る事件の内容に会場が凍りついたことを覚えてます。

この時の、子どもたちの安全を守らなければならないという思いが、市議会議員となるきっかけでした。議員となっただちに小学校に警備員を配置しました。以来、中学校給食の実現、青少年の居場所づくり、三世交流事業の充実など、鎌倉のすべての方々の安全で充実した暮らしをテーマに働いてまいりました。

引き続き、皆さまのご意見を伺い、政策に反映できるよう努力をし、解決できるように尽力してまいります。

1番バッターとして 12月議会一般質問

12月4日に始まった令和7年度12月議会、5期目に入った松尾市政の初の定例会でしたが、私がトップバッターとして一般質問をいたしました。



市長は「未来ビジョン2029」を掲げて当選されました。これからの4年間でこのビジョンを一つ一つ実現させていくわけですが、掲げられた課題の中には、これまで私が意見を述べ提案してきたことが多く含まれています。例えば

- 防災・防犯、老朽インフラの更新について
- 教育・子育て・子育て環境の充実
- ご高齢者の包括的な支援体制
- オーバーツーリズム、民泊対策と宿泊税 他

今回の私の一般質問では、これらの課題をどのように進めるのか、7項目46問について確認させていただきました。

前川あやこの活動は
ブログ「いやさか通信」
Facebook、Instagramを
ご覧ください。



ブログ「いやさか通信」から

開会式、選手宣誓を受ける



母と子のトススペースボール鎌倉大会。記念すべき60回大会に会長として参加。寒さの中、温かな気持ちになり元気をいただきました(12/05)。

7年度秋の収穫まつり



鎌倉武道館にて技能者、農業者、漁業者などが表彰され、展示販売も。「議会報告会2025」も開催して皆さまのご意見を伺いました(11/30)。

鎌倉全国俳句大会開催



八幡宮の紅葉のなか24回目を迎え、星野椿、高士岡先生のお人柄で全国から門人が集合。講演は阿川佐和子さん。勉強になる1日でした(11/24)。

鎌声会創立75周年祝賀会



木遣り唄の稽古を多くの人が受けられるようにとできたこの会。鎌倉市の伝統文化が脈々と受け継がれています。私も会員の一人です(11/24)。

水を巡るミステリーツアー



浄明寺町内会の防災の集いは、地域の井戸を巡るツアー。災害で水道が止まった時、どこに水があるか。井戸の現状など貴重な体験でした(11/22)。

鎌倉・藤沢市と議員交流会



令和7年の夏から両市の市議会有志で交流を開始。今回の集まりは3回目。iPark Shonanに16名が集合、親交を深めました(11/21)。

前川あやこのホームページからブログ「いやさか通信」をご覧ください。
<http://www.maekawa-ayako.net>

共育のまち、鎌倉をつくろう



令和7年11月3日、鎌倉市政功労表彰式が開催
私は市議会議員としての20年間の活動に対し
市政への功労が顕著として「自治功労表彰」を授与されました
ひとえに皆様方の応援のおかげと感謝に耐えません

無所属 鎌倉市議会議員6期
前川あやこ

2005年初当選 夢みらい鎌倉
教育福祉常任委員会委員長
議会運営委員会委員

レポート

NO.90

2026.01発行

2025年12月議会からのご報告

- 1 防災・防犯、インフラ更新について
- 2 教育・子育て・子育て環境の充実
- 3 ご高齢者の包括的な支援体制
- 4 オーバーツーリズムと民泊対策



WEBサイト

討議資料

【発行】前川あやこ 【住所】〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-10-8
【TEL / FAX】0467-23-0964 【E-mail】info@maekawa-ayako.net
【前川あやこ履歴】1960年鎌倉市二階堂生まれ、聖心の園幼稚園
第二小・中学校、聖園女学院、日本大学。

防災・防犯、インフラ更新について

●災害対策はスピード感を持って

現在の由比ガ浜消防署は老朽化が進み、すでに本部機能は大船に移転。さらに公共施設再編により、浄明寺出張所と鎌倉消防署を一体化して雪ノ下地区に整備する計画です。

由比ガ浜の跡地には津波避難機能を備えたビルを整備する予定ですが、いつ発生するかわからない災害に対して、こうした災害対策は、是非スピード感を持って進めていただきたいと思います。

●安全を守る要、防犯カメラの設置状況

H28年からR7年度までに、自治町内会からの要望で設置された防犯カメラは152台。一方、市が設置する街頭防犯カメラは、鎌倉駅、北鎌倉駅、七里ガ浜踏切付近など数台にとどまります。市が設置するとなると反対する市民の声もあり、難しいことは分かります。

しかし、登下校や公園で遊ぶ児童生徒の安全、またご高齢者などの行方不明発見など、ますます必要となる防犯カメラ。犯罪から市民を守るためにも、設置に適した場所の研究、調査とともに早急な設置をお願いします。

●連続して発生した老朽化水道管事故

6/28日に発生した漏水事故は市内1万戸の断水になりました。更に同じ場所で11/28日にも漏水事故が発生。この復旧工事のため周辺地域が断水すると言われ、地元町内会ではそれに対する備えを始めたところ、断水させなくても修理できる工法が見つかったとのことで、断水せずに済みました。

青少年の居場所、COCORU鎌倉1周年

二階堂の青少年会館にオープンして1年。中高生の登録者数も400人を超え大変好評。1周年記念の11/19には浄明寺町内会青年部や女子会が焼きそば、お汁粉を販売して応援、このような中高生の居場所が市内各所にできることを願います。



災害時には様々な情報が流れ、被害が拡大します。市と県との連携を深め、適切な対応を求めます。

●市民に優しいインフラ整備を

大船駅東口駐輪場整備について、ベビーシート付きアシスト自転車やパーソナルモビリティの駐車への配慮を要望したところ、平置きスペースを併設したいとのこと。

また狭窄症やヘルニア等で連続した歩行が辛いというご高齢者が増えています。バス停から自宅まで歩く際、何度か休むというご高齢者も。そうした場合のちょっとしたベンチの設置についても考慮するとのこと。優しさも重要なインフラです。

教育・子育て・子育て環境の充実

●R8年4月から鎌倉市内の産院は1か所に

旧鎌倉地区には赤ちゃんを産める医院は1つもなく、さらにこの4月からは大船地区の産院が分娩受け入れを終了。産院は湘南鎌倉総合病院のみとなります。このため、市は妊婦さんの通院負担をどのように軽減するか検討中。現在、湘南鎌倉が活用しているオンデマンドバスの利用地域の拡大などが検討されています。

ご高齢者の包括的な支援体制

●住み慣れた地域で自分らしい暮らし

今年、団塊世代が75歳以上となりました。そんな中、鎌倉市ではご高齢者の自立生活支援の目的で、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、「地域包括ケアシステム」を推進してきました。

その中心となる支援センターは、市内に10か所ありますが、所属人数に偏りがあります。中でも人数が多いのが今泉と関谷。社会福祉士などの3職種とケアマネジャーの4名体制が基本ですが、1名増員することで対応しています。

12月定例会 教育福祉常任委員会

私が委員長を務めるこの委員会、今定例会では、地域福祉、スポーツ振興、いじめ防止、教育振興基本計画、市費採用教員の採用状況などの課題とともに、教育福祉関係の機構改革など、教育長のご出席もいただき、朝9時半から夜7時半まで、長い時間を費やす議論となりました。

オーバーツーリズムと民泊対策

●鎌倉市の民泊ガイドライン

現在、中国問題で一時的に観光客の数が減っていると言われます。鎌倉市の受け入れ許容量を超えたインバウンドを含むオーバーツーリズム。一歩立ち止まって考える良い機会です。

急増して問題となっている民泊トラブル。騒音、ゴミ、事業者への連絡不通など、鎌倉市では事業者へのガイドラインを制作、公開しました。

ガイドラインは住民の声が実現した一定の成果ですが、これだけで迷惑行為が止められるか、この先が重要です。

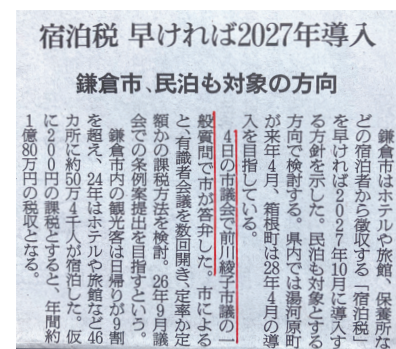
●神奈川県民泊の三分の一が鎌倉市に

昨年私が質問した時、市の民泊は107軒。わずか1年で163軒に急増。県全体では463軒、三分の一が鎌倉市にあります。民泊の事業認可は県にあり、周辺住民にはチラシ告知のみで可、家主不在型でも可能など、簡単な届け出だけで営業できてしまいます。

さらに市では条例を策定できません。県の条例に年間180日以内の営業制限、住居専用地域での営業規制などもあり、鎌倉市にもこの条例の適用、あるいは内容の協議を強く求めます。

●R9年10月からの導入を目指す宿泊税

観光客の増加は鎌倉市にも様々な負担となります。例えばトイレやゴミの問題。その一助とするものが私の求めている「宿泊税」の徴収です。今年度中に有識者会議を立ち上げ、R9年11月から課税開始を目指すとのこと。もちろん民泊も含まれます。この質問は朝日新聞にも取り上げられました。



朝日新聞2025年12月9日発行「4日の市議会で前川綾子市議の一般質問で市が答弁した。」